

Rotary
District 2640



人類に
奉仕する
ロータリー

2016-2017

1月

地区テーマ

対話から新たな一歩へ
共に楽しむロータリー



GOVERNOR'S
**MONTHLY
LETTER**

職業奉仕月間

ガバナー 福井 隆一郎
Governor Ryuichiro Fukui



District
2640

2016-2017 年度
国際ロータリー第 2640 地区 ガバナー事務所

〒590-0985 堺市堺区戎島町 4-45-1 ポルタスセンタービル 1 階 101 号室
TEL (072) 223-1000 / FAX (072) 223-1005
HP : <http://rid2640g.com/fukui> / E-mail : fukui2016@wind.ocn.ne.jp



ポリオ撲滅をご支援ください。

2016-17年度は「ロータリー財団創立100周年」です



<http://rid2640g.com/fukui/>



<http://www.rotary.or.jp>



<http://www.facebook.com/RotaryJapan>

目 次

1月のRI会長メッセージ	RI会長 ジョン・ジャーム	1
1月のガバナーメッセージ	ガバナー 福井 隆一郎	2-3
コーディネーターニュース1月号		4
ハイライトよねやま 201		5-6
地区活動報告		
地区職業奉仕委員長会議の報告		7
南紀熊野訪問旅行 南紀三クラブ合同例会 地区米山記念奨学会		8
忘年会（クリスマス会） 地区青少年交換委員会		9
米山親睦クリスマスパーティー 地区米山記念奨学委員会		10
クラブ活動報告		
創立60周年記念事業 ネパール ジャナディープ高等学校建設支援校確認と 初芝橋本高校インターアクト海外研修 橋本ロータリークラブ		11
我がクラブのテーマ		
岩出ロータリークラブ、和歌山アゼリアロータリークラブ		12
御坊南ロータリークラブ、和歌山ロータリークラブ		13
地区会員数・出席報告 2016年11月		14
行事予定 2017年1月		15



HAPPY NEW YEAR 2017

問題解決に導く

2016-17 年度 国際ロータリー
会長 ジョン・ジャーム

親愛なるロータリアンの皆さん、私たちが迎えた 2017 年は、国連の「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」が 2 年目の年でもあります。SDGs と呼ばれるこの目標は、最も差し迫った経済、政治、社会に関する課題に取り組んで、世界中の人々が同じように歩めるようにするための 17 項目からなるリストに関連しています。この取り組みは極めて野心的なものです。それくらい心構えがなければ問題の解決は困難です。SDGs が目指す最終的な目標は、すべての人々が、平和、繁栄、安全、平等を享受できる世界の実現にほかなりません。

このようなプロジェクトに対し、私たちはどのような取り組みを始めたらいいのでしょうか。ロータリーにおける、私たちの答えは単純明快です。それは「一歩ずつ」進めていく、ということです。これらの目標は、ロータリーにとって新しいものではありません。それらは既に私たちの重点分野にも反映されています。私たちは SDGs の 17 項目すべてが、ロータリーの 6 つの重点分野と同様、互いに関連し合っていることを理解しています。清潔な水がなければ健康は維持できません。衛生環境が整っていないければ清潔な水は確保できません。衛生環境を整えば子どもたちは学校へ行くことができ、結果として教育が向上し、ひいては経済の繁栄や健康の向上につながります。地球全体の進歩について語る時、切り離すことができる指標も、目標も、国家も、一つとしてありません。持続性のある真の進展を実現するためにも、共に前進していかなければならないのです。



持続可能性という概念は、SDGs だけでなく、ロータリーの奉仕にとっても鍵となる考え方です。持続可能性とはその名の通り、持続的に発展させるということです。例えば、井戸を掘るだけではなく、その井戸を地域社会が維持していけるように工夫するということです。ただ一週間の無料巡回治療（ヘルスクャンプ）を行うというのではなく、現地の医療従事者も養成するということです。持続可能性とはすなわち、家族や地域社会に対して目標達成に必要なツールを提供することで、自分自身の将来に責任を持つ力を与えるということなのです。

持続可能性という概念は、常にロータリーの中心にある考え方です。私たちは 112 年もの経験を有していますが、今後も活動の幅を広げていこうとしています。私たちのこれまでの活動は、医療や教育、水と衛生、そして言うまでもなくポリオ撲滅において既に変化をもたらしています。

ポリオ撲滅は究極の持続可能な奉仕です。このプロジェクトが終われば世界に永遠の恩恵をもたらすことになります。これらの恩恵は、人類にとって一つの病気を撲滅したというよりはるかに大きいものです。ポリオ撲滅により、毎年およそ 10 億ドルのコスト削減ができると見積もられています。削減分は公衆衛生の予算に還元したり、ほかの差し迫ったニーズに割り当てたりすることができ、今日の正しい業績を、より健全な将来へとつないでいくものです。



国際ロータリー第2640地区
ガバナー 福井 隆一郎



皆様 明けまして お
めでとうございます

新しい年を迎え、すがすがしいお気持ちでお正月をお祝いされたことと、心よりお慶び申し上げます。本年も何卒よろしくお願い申し上げ、本年も皆様にとって素晴らしい年でありますよう祈念申し上げます。

早いもので今年度も、残り6ヶ月になりました。あっという間に時間が過ぎていきました。これから益々、2640地区が盛り上がるように、後半も頑張ってまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

特に分区の活動が、これから大事になってまいります。皆様 楽しくお集まりいただき手に手を取って、大きな輪にして参りましょう。

中長期検討委員会

地区事務所について、皆様にアンケートをお配りしています。今後の地区の運営についていろいろなご意見があると存じますので、アンケートのご協力をお願い申し上げます。又、青少年の活動について各委員長からの現状と問題点をお願いしました。

月信・ホームページのご活用 ご回覧を

昨年より月信、ホームページの充実に力をいれています。皆様からのご意見を、お願いいたく存じます。又、今年度は各クラブの情報を、地区全体に知っていただくようにしています。今まで知らなかったことや、素晴らしいクラブ

の事業など、大変ためになる情報が満載しています。是非ご覧ください。

各クラブにお願いですが、是非、多くの皆様に月信やホームページの積極的な回覧をお願いしたく思います。日頃ホームページをご覧にならない方も、見ていただく事を、クラブでお考えいただきたいと思います。よろしくお願い申し上げます。

斉藤R I 理事 規程審議会の柔軟性について

「2016年COLに基づくクラブ細則の応用事例（柔軟性導入による）」の件ですが、今回お示しする『柔軟性』を導入した場合のロータリークラブ細則は、あくまでも「例示」であり、標準クラブ定款のように強制的なものではありません。あくまでも参考事例であるということを十分にご理解頂き、「柔軟性」の導入は、クラブの主体性、自主性（自治権）において決定して頂くようお願い致します。

また、強調したいことは「柔軟性の導入」は厳しくすることも緩和することも可能になっています。

柔軟性の導入とは、決して「緩和」だけという意味ではありません。

●追加記載の項目は

- ※会費の種類で考えられるもの（このほかにクラブで独自に設定することが可能）
- ※例会の頻度、開催曜日、開催時刻、開催方法など
- ※入会金の項目の追加（クラブ定款では削除されましたが、細則で追加可能）
- ※会員身分の存続の例外（出席に関する例外規定）
- ※クラブ委員会の明示と任務についての記載
上記先日各クラブへメールでお送りしたCLOについての柔軟性の意味についての、斉藤理事の見解です。

情報規定委員会

各クラブがこれから作成を予定されている細則の原案を、例文を踏まえて、お知らせをいたします。大きな改正がありましたが、よく論議をお願い申し上げます。斉藤理事も、言われたように、柔軟性をもって対処していただければと思います。



斉藤直美RI理事



RIJYEC

「青少年交換委員会のマルチ化に、ガバナー会議で賛同を得た」という報告。

つまり、日本全体（の青少年交換プログラム）をRIJYECに統一する。



その意味は、青少年交換プログラムをする際の窓口を東京の事務局で1本化することです。各地区で、世界のいろんなクラブと交換留学を成立させているが、東京の

RIJYECでまとめて、各地に分散する方式に変わる。日頃のRIとの手続きもRIJYECがしてくれるので、地区での対応が簡素化される。地区は何もしなくても、あてがいぶちで、交換留学ができるようになるということです。

この利点は、各地区の青少年交換委員長が初めて委員長をする際に、交換相手を探す手間が省ける。東京の事務局に頼めば処理してくれる体制になる。山田委員長のご報告より。

マルチ化→他地区合同奉仕活動 左記に言い方を変更します。

職業奉仕委員会

高橋委員長のもと、11月26日に職業奉仕委員会が開催されました。今までの委員会と違って、今回は岡先生の自殺についてという講演があり、具体的な社会問題を職業奉仕とどう結びつけるかといったユニークな委員会になりました。各委員からいろいろな質問が出て、盛り上がりのあった委員会でした。

インターアクト研修

12月末にタイへの研修旅行があり、木本委員長の御指導の下、若者たちが海外での研修旅行に望みます。（出発：関西国際空港）



Rotary ローター国際大会

2017年6月10日～14日
米国・アトランタ



アトランタで一緒に祝おう
アメリカ南部独特の温かさを体験



財団 100 周年イベント



「世界でよいこと」をしてきたロータリー財団の100周年は、アトランタ国際大会でクライマックスを迎えます。財団生誕の街アトランタで、世界中のロータリアンと一緒に祝賀に参加しませんか。

アトランタに行こう



アメリカ南東部の独特の温かさと親しみを感じることのできる街、アトランタ。豊かな歴史とともに築かれた街アトランタには、家族で楽しめるアトラクションもあります。





■ 2016年規定審議会とロータリーの戦略計画

2016年の規定審議会では、今までになくロータリークラブの自主性と責任が問われることになりました。各クラブの運営方法、特に例会のあり方を真剣に協議しなければなりません。それこそがクラブの戦略計画です。今の自分のクラブの良い点、悪い点をしっかり検証し、3年後、5年後、10年後のクラブの姿を描いて計画します。それに従って毎年の計画がなされ実行され、毎年の検証も必要です。この戦略計画は、クラブ協議会を通じて、会員全員が共有しなければなりません。また、今回改正されたことを地区や分区・班・グループで統一見解を出して欲しいとの意見もあります。しかし、今度の規定審議会で決まったことは、各クラブの自主性と責任です。横並びの方が楽ではありますが、会員全員で考え話し合うことを選びたいものです。当然、今までのクラブの運営方法を必ず変えなければならないと言うわけではありません。

■ クラブの細則の改正

いうまでもなく、規定審議会が開催された次の年度には、決まったことをクラブの細則に反映させなければなりません。推奨ロータリークラブ細則を採用しているクラブにおかれましては、クラブの細則は、クラブの例会で改正します。10日前に会員に書面で通知し、定足数を満たした例会で3分の2が賛成することが必要です。また、国際ロータリー定款・細則、ロータリー章典と矛盾してはいけません。

■ クラブ数 会員数

Zone 1	830	28,777
Zone 2	651	28,204
Zone 3	793	33,019
合計	2,274	90,000

■ BOX登録件数

182件

2016年12月6日現在のClub Centralのデータです。



ジョン・F・ジャームRI会長ご夫妻
斎藤直美RI理事ご夫妻
名古屋ロータリー研究会
2016年11月29日

ロータリー研究会とは、ゾーン単位で開催され(日本は3つのゾーン合同)国際ロータリーの現、次期、元役員に国際ロータリーとロータリー財団の最新の情報を提供し、親睦と研修の機会を提供する会です。



2016年7月9日(土)大阪にて、第3ゾーンロータリー戦略計画推進セミナーを開催し、105名の登録をいただきました。開会式では、斎藤理事のご挨拶をいただき、第3ゾーンの3部門、ロータリーコーディネーターとロータリー公共イメージコーディネーターとロータリー財団地域コーディネーターがそれぞれ趣旨説明し、杉谷直前理事の講演をいただきました。そして、部門ごとのグループ討議で地区の情報交換があり、財団部門では、第2730地区のグローバル補助金の事例発表がありました。グローバル補助金の使い方が難しく、それぞれの地区のロータリー財団委員会には、参考事例になったようです。その後の、杉谷直前理事ご逝去は、残念でありました。

第3ゾーン ロータリーコーディネーター 安満 良明



ハイライトよねやま 201

2016年12月12日発行
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

寄付金速報 — 年内のご送金はお早目に —

11月までの寄付金は前年同期と比べて2.9%減（普通寄付金2.7%増、特別寄付金5.5%減）、約2,040万円の減少となりました。依然、前年度比累計額は減少となっておりますが、11月のみの単月寄付額は2006年度以降11年間の中で最高額となりました。皆様からのご支援に心より御礼申し上げます。12月は例年、特別寄付金を最も多く納入いただいている月です。今年も残すところあと半月ほどとなりました。確定申告を予定されている方は**12月30日（金）までに着金**くださるようお願いいたします

全国学友会会長セミナー開催 — 地区を越えた連携へ —

国内の米山学友会会長を対象としたセミナーが11月26日、都内で開催され、全国33の学友会の代表者29人が参加しました。来賓の選考・学務委員の渡邊和良氏からの示唆に富んだごあいさつの後、奨学会からの実務説明があり、その後は、80分間のグループディスカッションが2回行われました。それぞれ「学友会の課題と解決策」と「これからの学友会」のテーマに沿って、各



学友会代表者が、運営上の課題・悩みやロータリアンとの連携、特色ある活動などについて事例を出し合い、活発な意見交換が行われました。午後からは、韓国学友会の全炳台会長もオブザーバーとしてディスカッションに参加し、懇親会では一人ずつ特技や趣味の話を披露して、盛り上がりを見せました。今回のセミナーを通じて、地区を越えた学友の輪が広がり、今後の情報共有・連携が進むことが期待されます。

2017年の年賀状は現役奨学生がデザイン

米山記念奨学会事務局では、評議員・理事・地区米山奨学委員長・他団体など、毎年約500枚の年賀状を送っています。今回は、第2760地区の現役奨学生で名古屋工業大学大学院修士課程にて工学を専攻するゲンシンコンさん（ベトナム／あまRC）が、年賀状のデザインをしてくださいました。

シンコンさんからのメッセージ



米山奨学金の合格通知をいただき、他の奨学金を辞退してロータリー大家族の出会いを楽しみにしていました。そして素敵な方に出逢いました。年賀状では鶏の家族の暖かい愛情を表現し、ヒナの目とお父さんの目は幸せに見合っています。そして、お父さんとお母さんは子供と一緒に支えています。これは、僕の奨学生としての実感です。出逢いは本当に奇跡であり、その奇跡の元は愛であることをロータリアンから学びました。今言えることは、米山奨学生になってよかったです。皆さんの暖かさに包まれ幸せです。



韓国米山学友会が総会を開催―日本人留学生支援も開始―

11月19日、ソウル市内のホテルで韓国米山学友会の定期総会が開催され、学友約70人のほか、当会の小沢一彦理事長や第3650地区の朴虎君ガバナーはじめ韓国ロータリー関係者、台湾米山学友会・関西米山学友会役員など、約90人が参席する盛会となりました。

総会の第一部では、全炳台韓国学友会会長のあいさつや来賓からの祝辞に続き、ソウル国際大会を含む一年間の活動報告、今後の事業計画の報告などが行われました。第二部では、韓国学友会が5月から支援を始めた在韓日本人留学生2人への奨学金授与式が行われ、その後は和やかな懇親会で交流を深めました。参加者からは、「学友会を通じて、米山との絆が繋がってうれしい」「多くの人から支援を得て、学友会が発展していけると感じた」「最近では若い学友たちが積極的に参加し、学友会の雰囲気が活気に満ちている。今後帰国する学友も、ぜひ一緒に活躍してほしい」などの声が聞かれました。今後はさらに会員を増やし、役員が交代しても継続できるよう組織のシステム化を図り、会員同士の連携・連帯を強めていく方針を掲げています。(取材協力:韓国米山学友会広報委員会)



学友会が支援する日本人留学生もあいさつ

「奨学生体験発表会」と母国料理で感謝― 第2530地区 ―



11月23日、第2530地区米山学友会が主催する「奨学生体験発表会」が郡山市内で開かれ、奨学生と学友20人のほか、当会常務理事の武田和夫氏、よねやま親善大使の金福漢さん、同地区佐久間英一ガバナーをはじめロータリアンら総勢約70人が出席しました。

奨学生は各自学びの成果や、故郷の紹介、将来の夢など思い思いのテーマで発表、ロータリアンは興味深そうに耳を傾けました。また、よねやま親善大使の金福漢さんは、自身が経営する福祉施設で

作ったさまざまな絹糸を見せながら、「同じ絹糸でも、製法によって見た目も手触りも全く違う。人間もこれと同じで、互いの国籍、肩書などでその人を判断することなく、実際に触れ合うことを大切にしてほしい」と、語りました。

この日は朝早くから、奨学生・学友のほか、チンタカ・クマール会長の教え子のみなさんが協力して母国の手料理を準備しており、作りたてのフォー（ベトナム）、水餃子（中国）、ホーショール（モンゴル）、キリバット（スリランカ）などがテーブルいっぱいになるまわれ、全員で舌鼓を打ちました。



申告用領収書は来年1月にお送りします

ロータリー米山記念奨学会へのご寄付は税制優遇を受けることができ、「税額控除」か「所得控除」いずれか有利な方式を選択できます。今年1～12月に寄付をした方には、来年1月末までに申告用領収書をクラブ経由でお送りします。**12月30日（金）当会着金分までが対象です。**

米山記念奨学会事務局は、
12月28日（水）～1月5日（木）の間
休業させていただきます。
来年は1月6日（金）より通常業務
となります。



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281

E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>
編集担当 : 野津(のづ)・峯(みね)

2016～2017 年度 地区職業奉仕委員長会議の報告

地区職業奉仕委員会

委員長 高橋 明（堺 RC）

11 月 26 日（土）13 時～16 時、泉大津市のテスクピア大阪にて 2640 地区 職業奉仕委員長会議を開催いたしました。当日は、福井ガバナーをはじめ、7 名の地区役員、3 名の地区職業奉仕委員、各クラブよりの 45 名と多数の出席をいただきました。

点鐘後、福井ガバナーからのご挨拶をいただき開会いたしました。プログラム前半は、和歌山県立医科大学 保健看護学部講師 岡 檀 先生による基調講演「生き心地の良い町 ― 自殺“希少”地域の調査から得られた気づき ―」。



先生は、全国の統計を丹念に分析され、他所に比べ極めて自殺率の低い地域を見出し、フィールドワークとしてその地域に溶け込み人々の暮らしぶりと自殺“希少”であることの結びつきを研究されました。研究成果は、保健看護学だけでなく社会学、経営学など幅広い領域で注目されています。そのような立派なお仕事を、優しい語り口で出席者に分かりやすくご説明いただきました。先生には、フロアーからの多数の質問にも一つひとつ丁寧にお答えいただきました。その後、6 名ずつのグループに分かれ、意見交換及びグループ発表を行いました。会を終わるにあたっては、福井ガバナーから総括として岡先生、出席者一同に労いの言葉を賜りました。

先生の示された生き心地が良いとは、①一人ひとりの自由意思が尊重される②問題が起こった時には、早くしっかりサポートできる繋がりがある③一人ひとりの尊厳（自尊心）を互いに保ち合うと理解しました。“自殺が希少”を一つの指標に用いて、職場や地域、家庭で私達が仕事をし、暮らすにあたってのあり方を示唆していただけたと考えます。職業は常に人々が自ら努力するとともに助け合うことで成り立ちます。職業を通じての社会貢献には、職務が厳しいとしても、職場が心地良い場であることが必須です。今回の岡先生の御研究から学べた“生き心地良さに必要なこと”を役立てたいところです。グループ討論を通じて、出席者で認識を共有化し、会を終えることができました。各クラブでの職業奉仕の実践に活かしていただくことを願っております。

最後に、貴重なご講演をいただいた岡先生、会の準備、運営に御支援・御協力をいただいた多くの皆様に御礼を申し上げ、御報告といたします。

1 月は 職業奉仕月間です

南紀熊野訪問旅行
南紀三クラブ合同例会
(新宮 RC・串本 RC・那智勝浦 RC)

地区米山記念奨学会

11月26・27日、奨学生10名、米山委員6名、車5台に分乗して南紀熊野訪問旅行に出かけました。

新宮に昼過ぎに到着、新宮 RC 温井会長にお迎えいただき、昼食後、神倉神社、熊野速玉大社、阿須賀神社とガイドさんの説明で奨学生は勿論ですが委員も興味深く散策をする事が出来、神倉神社は、熊野大神が



熊野三山として祀られる以前に一番最初、降臨された聖地です。天ノ磐盾という峻崖の上にあり、熊野古道中の古道といわれる五百数十段の仰ぎ

見るような自然石の石段を登りつめた所に御神体のゴトビキ岩があります。急勾配の石段を韓国の李江鎬(イ ガンホ)君はガイドさんも驚く早さで上りました。熊野速玉大社では八咫鴉、榊の木、境内にそびえる樹齢千年のナギの大樹は熊野権現の象徴として信奉篤く、古来から道中安全を祈り、この葉を懷中に納めてお参りすることが習わしとされています。熊野牛王とナギの葉をいただくことが、難行熊野詣を無事果たす大きな支えとなりました。とガイドさんの説明の後、榊の葉をいただきました。

最近、世界遺産に追加登録された阿須賀神社は熊野発祥の地であるといわれています。古伝によると、熊野大神は初め神倉山に降臨し、次に阿須賀の森に遷り、熊野大神のうち家津美御子はさらに貴祢谷に遷ったが、結速玉の二神はそのまま阿須賀の森に留まった。第十代崇神天皇の御代に家津美御子はさらに熊野川上流の音無の里(本宮)に遷り、結速玉は第十二代景行天皇の御代に今の新宮に遷座した。とガイドさんなしでは解らない貴重な体験を新宮 RC にしていただきました。

夜是那智勝浦 RC の例会場で三クラブ合同例会を



開催いただき、約50名で親交を深める事が出来たと思います、奨学生卓話も2名聞いていただき色々な質問もあり、楽しい時間はすぐに過ぎました。

2日目は生憎の雨で楽しみにしていた紀の松島巡りは中止で、那智の滝に変更でしたが那智勝浦 RC 後会長の専門分野でジオパークの視点も交えての那智の瀧見学と大門坂の観光写真スポット実は那智勝浦 RC の事業との説明がありました。



那智の瀧は石英斑岩からなるほとんど垂直の断崖に沿って落下し、落ち口の幅13m、滝壺までの落差は133mに達し、その姿は熊野灘からも望見することができ、一段の滝としては落差日本1位、海から見えるのを初めて知りました。雨



と言う事もあり予想以上に時間がかかり、残念ながらクジラ博物館ではイルカショーは見られませんでした。ピンクのイルカとクジラに奨学生は大喜びで、餌付け体験は大盛況でした。

昼食後は、串本 RC の待つ橋杭岩まで、晴れなら橋杭岩をまじかで見て大島のトルコ記念館等、見学予定でしたが時間も大幅に遅れたこともあり、串本 RC の南会長からの申し出で橋杭岩前の儀平様2階で串本 RC の矢倉さんの熱のこもったトルコ軍艦「エルトゥールル号」の話や串本の話をしていただきました。トルコ記念館と檣野灯台は、駐車場から少し離れているため残念して



日米修交記念館と海金剛を見学、雨の中を最後までお付き合いいただきました。

今回の奨学生との交流に三クラブの会長、会員の皆様が知恵を絞り、地域色ゆたかに案内をしていただき、夜の例会でも楽しく交流でき、奨学生にお土産まで用意して暖かく迎えていただいたことは奨学生の心に深く残っています。

新宮 RC、串本 RC、那智勝浦 RC の皆様に感謝いたします。

(南紀熊野訪問3クラブ合同例会の記事が『熊野新聞』電子版に掲載されました。地区ホームページにも掲載しています)

忘年会（クリスマス会） 青少年交換委員会

12月18日、青少年交換委員会主催の忘年会（クリスマス会）を開催しました。受入留学生たちは、8月末に日本に来て3ヶ月半が経とうとしています。ホームステイチェンジをした人もいます。日本の生活にも慣れてきて、活動範囲が急に広がった人もいます。日本語も徐々に上手になってきました。誰もが、日本語でスピーチするのが当たり前になってきて、長い文章を発表する人もいます。日本のクリスマスや正月を経験して、多いに見分を深めてほしいものです。1月にはオーストラリアのマット君が帰国します。大阪弁をマスターして帰ります。彼の「めっちゃ」という言葉が耳に残っています。

派遣留学生の人たちには、英語の勉強をするようにかなり強く言ってきています。特にアメリカでは、TOEFLやTOEICの成績を上げるように要求してくる地区もありますので、毎回のクラブ例会などでも英語で2～3分間のスピーチをするのが当たり前になってほしいと思います。アメリカ以外の地区に行く人たちも、世界から来ている留学生たちの共通語は英語なので、常に英語を使うことを念頭に置いて行くまでの準備をしておいてほしいものです。インドネシアに行く榎本君はヨーヨーの名手で拍手喝さいを浴びていました。「芸は身を助ける」各人で特技や趣味を磨いておいてほしいものです。

後半は、今年と昨年に帰国したROTEXの皆さんが、ゲームで楽しいひと時を演出してくれました。

廊下では、青少年交換委員会が行われました。今年度の後半の行事のこと、次年度の行事に対する取り組みなどについて、真剣な話が続いた。みな、青少年交換プログラムの行く末を心配するからこそ熱く話すのだ。今年度育てた受入留学生が帰国してROTEXとして活躍し、事前学習を重ねた派遣留学生が次年度8月から旅立ち、大きく成長します。この半年間のロータリー年度とのずれを意識しながら、より充実した交換プログラムづくり、より豊かな奉仕活動の実践者としてのロータリーライフづくりについて、議論は続きました。



米山親睦クリスマスパーティー

米山記念奨学委員会

12月16日金曜日、ホテルきららリゾート関空で開催いたしました。
米山記念奨学会より講師として、武本様を御招きして講演会と米山奨学生によるパフォーマンスの2部構成で行い、近森委員長の呼びかけもあり60名以上の参加でした。

武本様は「米山記念奨学事業の醍醐味 国際奉仕と人材育成」と多方面の説明で事業内容を解りやすく講演していただきました。米山事業は他地区共同事業であり、優秀な人材を育て日本との懸け橋を育成する日本独自の事業であり、その成果もようやく芽生えつつあります、海外学友会が八ヶ国で設立され、日本人留学生に奨学金を出していると所もあります。

米山事業は寄付だと思われていますが、人材育成事業も大事な事業であると、熱く講演していただきました。

武本様から「皆様、熱心に聞いてくださり有り難うございました。」感謝の御言葉もありました。

クリスマス会は奨学生が自分たちで趣向を凝らして、歌とダンスを披露してくれました。中には民族衣装に着替え、歌や伝統の踊りを披露してくれました。

初めての試みでもあり、どうなる事かと思っていましたが、大勢の皆様に参加いただき感謝いたします。



クラブ活動報告

創立 60 周年記念事業

ネパール ジャナディープ高等学校
建設支援校確認と初芝橋本高校インター
アクト海外研修

橋本ロータリークラブ

国際奉仕委員会 喜多 啓允

2016 年 11 月 6 日から 17 日まで、大沼、喜多、辻の 3 会員と特別参加者（菅野）1 名がネパールを訪問しました。今回の訪問目的は橋本ロータリークラブが創立 60 周年記念事業のひとつとしてネパールに建設支援するジャナディープ



高等学校（5 校目）の完工引き渡し式への出席でしたが、訪問直前に今年の雨季は大雨でネパール国内の道路が

しばしば遮断されたため建築資材の搬入が阻害され、完工が遅延する旨の連絡が入ったため、急遽目的を同校建設の進捗状況の確認と、昨年度までに建設支援した学校への訪問視察に変更しました。

また、今年は恒例になりつつあるネパール訪問が提唱クラブの初芝橋本高校インターアクトクラブの海外研修を兼ねることとなり、インターアクト 2 名（川本、石原）と引率教員 1 名（岸口顧問）も同行しました。

研修の一環として、最初に釈迦の生誕地ルンビニを訪れ生家や近隣の寺院を見学した後、ネパールでの支援活動拠点となるタンセンに向かいました。



タンセンで、垣見一雅（ok バジー）氏、さいたまユネスコの本多会長と合流し、ジャナディープ高等学校建設進捗状況を確認し、3 度目の訪問となるパシュパティ小学校、昨年支援

したプラバット高等中学校を訪問し、両校に文房具の配布とともに吉田会員の個人寄付金を届け、以前からある橋本ロータリー基金を拡充し生徒達に学用品提供、校舎の維持管理などの支援活動基金を一層充実することになりました。

また、垣見さんのご配慮で、タンセンでインターアクトのホームステイが実現出来ました。ホームステイで彼らはより身近にネパールを理解できたことと思います。プラバット高等中学校ではインターアクトと 18 名の現地高校生との意見交換会を行い、交流を深めることが出来ました。

2016 ～ 2017 年度の橋本ロータリークラブの支援事業として、地域の子供たちを生活燃料



確保のため片道 3 ～ 4 時間かけて薪を取りに行く作業を軽減し、勉学に費やす時間と環境を提供することを目的として以前支援したバランディ小学校のある村に今年度中に 52 基のバイオガストイレを設置することになりました。

家畜の糞と人糞を攪拌し、1 日 2 時間程度炊事の燃料となるメタンガスが得られ、上澄みの液肥が野菜栽培に有効で、環境保全にも大いに役立つ事業だと確信しています。現地では施工責任者と面談し計画の確認を行い今年度中に完工出来る報告を受けました。

また、この村に「橋本ロータリービレッジ」という碑を建てたいとの申し出がありました。この後、インターアクト達を景勝地のボカラ、カトマンズの世界遺産に案内し空港に送りました。私たちは、以前から親交のある筋田氏（10 年以上ネパールで支援活動をしている）を訪ねて、現在のネパール事情をお聞きし、帰途岩村記念病院に立ち寄り昨年の地震による被害状況を副マネージャーのマンニタ（Manita）さんにお聞きし、幸い被害はなく安堵しました。

建物や物品を支援するだけでなく毎年継続的に訪問を重ねることで、ネパールの現地事情や村民との信頼感や親近感が増し、よりニーズに合う支援活動が出来るのではないかと考えています。

我がクラブのテーマ

岩出ロータリークラブ

会 長 芝田 豊和

テーマ 『 親睦と奉仕でロータリーライフを深めよう 』

2016～17 年の 1 年間を会員と一緒に、クラブ内での相互の親睦を深めて培った信頼をもとに奉仕活動を広げたいと思い、テーマにしました。

より明るく楽しいクラブを構築出来るよう協力をお願いし、一人一人が親睦を通じて相互理解を深め、その力をもとに奉仕活動を約半年行いました。青少年交換学生、米山奨学生を交えての例会では、互いにコミュニケーションを図り、日本での滞在が有意義なものとなるよう力添えをしています。

また、親睦の和をもって「献血活動」を行い、地域の方々にご協力頂きました。拡大することも大事ですが、ロータリー活動を深めていくことも会員の責務だと考えます。



和歌山アゼリアロータリークラブ

会 長 大野 治朗

テーマ 『 奉仕と友情。ロータリーライフで人格を高めよう 』

和歌山アゼリアRCは来年 20 周年を迎えます。創立当初は男性会員、女性会員が約半数ずつのメンバー構成でした。現在は女性が三分の一と少なくなりましたが、まだまだその特色を活かし、きめ細やかな奉仕活動を行っています。継続事業として、盲導犬育成事業としてメンバーが街頭募金に立ち皆様より頂いた浄財とクラブ内での募金を併せて育成事業に役立てて頂く。又、青少年活動の一環として、児童養護施設の支援等の活動を続けています。

又、当クラブのメンバーがバンドを結成し「アゼリアバンド」と名付け、メンバー一丸となり老人ホームや養護施設を慰問し、皆様の笑顔に触れ、私達にも喜びが返り、親睦と友情も深まり、少しでも社会に貢献出来る様、進めております。



我がクラブのテーマ

御坊南ロータリークラブ

会 長 喜多 英隆

テーマ 『 青少年に奉仕するロータリー 』



この度、2016－2017 年度の御坊南ロータリークラブ第 41 代目会長を拝命する事となりました。

本年度 RI ジョン F. ジャーム会長のテーマは「人類に奉仕するロータリー」2640 地区福井隆一郎ガバナーのテーマは「対話から新たな一歩へ共に楽しむロータリー」であります。

本年度 御坊南ロータリークラブのメインテーマは「青少年に奉仕するロータリー」であり青少年育成、会員増強、親睦を柱に会員と協力して地域のために少しでもお役に立てればと考えています。

この一年間会員皆様方のご協力よろしくお願い申し上げます。

和歌山ロータリークラブ

会 長 兼田 守

テーマ 『 感動こそ全て成り 』



我が和歌山ロータリークラブは本年度、ついに 80 周年を迎えることになりました。ここまで来ますと、100 周年の頂きが少し見えて来た様に思います。その輝かしい歴史と伝統ある我がクラブの 80 周年に相応しい一年にすべく、私の持てる力を存分に発揮してゆければと心新たにしているところであります。

さて、還暦を迎える年にもなれば「人生とは何ぞや」「良く生きるとは」「子や孫に伝えるべきことは何か」と自問自答する日が多くなります。そこで考え抜いた私の結論が「感動こそ全て成り」です。人はただ時間を、日々を費

やしてゆくだけで「生きている」と言えるだろうか。日々いろんな人と出会い、いろんなものを見て、いろんなものを食し、いろんな事に遭遇する。その中から何かしら心を揺さ振るものや人に出会えたなら、こんな楽しいことはない。このことを追い求めて、人は「生きている」のだと思う。感動なくして何の人生か！

すなわち「感動こそ全て成り」である。

人生の最大事業は命を繋ぐことです。親に産んでもらい育ててもらい、生きる智慧を授けてもらい、そして成人し、次は自分が新しい命を生み育ててゆく。しかし、そこに“愛”がなければ、人として成立しない。“愛”がなければただの動物になってしまう。この「愛の哲学」を勉強するのがロータリークラブではないでしょうか。人と人の絆が希薄になり、「人情」という言葉が失われつつある現代において、少なくとも我々、ロータリアンは、人の手と心を繋ぎ、人に何かしらの感動を与えられる様な生き方をしたいものです。我がロータリークラブで、一途に「人間性を磨く」ことに専念し。一人でも多くの「幸せと思える人」を造り出すことができれば、それこそがロータリアンとしての本望だと思います。

この一年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。

第2640地区 会員数・出席報告(2016年11月)

クラブ名	会員数		入会		退会		例会数	11月 出席率	平均 出席率	クラブ名	会員数		入会		退会		例会数	11月 出席率	平均 出席率
	16.7.1	11月末	11月	累計	11月	累計					16.7.1	11月末	11月	累計	11月	累計			
有田	27	26	0	0	0	1	3	84.62	84.32	那智勝浦	17	17	0	0	0	0	3	70.83	80.73
有田2000	18	18	0	0	0	0	4	93.05	93.98	堺利晶	8	3	0	0	0	5	2	100.00	100.00
有田南	31	31	0	0	0	0	5	91.56	90.67	大阪金剛	16	16	0	0	0	0	3	81.30	85.30
ワールド大阪	24	25	0	1	0	0	4	100.00	100.00	大阪狭山	11	13	0	2	0	0	3	94.70	95.90
Rotary E-Club Sunrise of Japan	16	19	0	4	0	1	2	84.21	93.68	りんくう泉佐野	17	17	0	0	0	0	4	89.06	89.98
御坊	42	42	0	0	0	0	4	78.88	81.98	堺	56	56	0	2	1	2	3	91.67	94.31
御坊東	16	18	0	2	0	0	3	72.22	78.33	堺東	27	27	0	0	0	0	4	96.15	95.96
御坊南	29	29	0	0	0	0	3	89.29	88.75	堺フラワー	13	3	0	0	1	10	2	60.00	65.00
羽曳野	14	15	0	2	0	1	3	94.66	91.97	堺泉ヶ丘	21	21	0	0	0	0	4	94.05	94.52
羽衣	15	15	0	0	0	0	3	82.20	85.16	堺中	22	22	0	0	0	0	3	83.33	81.17
橋本	52	51	0	0	0	1	4	93.25	94.76	堺北	30	31	0	2	0	1	4	87.91	91.39
岩出	26	27	0	1	0	0	3	90.12	90.93	堺おおいずみ	32	32	0	0	0	0	3	72.54	76.19
和泉	21	24	1	4	0	0	4	92.95	95.96	堺フェニックス	32	97	0	65	0	0	2	100.00	100.00
泉大津	39	40	0	2	0	1	4	88.61	91.41	堺清陵	22	22	0	0	0	0	3	77.19	89.79
泉佐野	27	28	0	1	0	0	2	96.16	97.85	堺南	11	11	0	0	0	0	4	90.00	95.22
和泉南	34	34	0	0	0	0	3	66.67	63.93	堺東南	10	9	0	0	0	1	3	75.93	88.36
海南	25	25	0	0	0	0	3	56.00	69.50	新宮	52	53	0	2	0	1	4	63.21	71.30
海南東	44	45	1	1	0	0	4	68.18	71.16	白浜	10	10	0	0	0	0	2	100.00	96.17
海南西	20	19	0	0	0	1	3	81.92	83.34	太子	13	14	0	1	0	0	4	82.10	83.70
貝塚	16	17	1	1	0	0	4	95.41	95.97	高石	27	27	0	0	0	0	4	76.60	76.19
貝塚コスモス	12	12	0	0	0	0	3	88.63	87.33	高師浜	14	14	0	0	0	0	2	89.01	89.95
関西国際空港	20	20	0	1	0	0	4	91.25	92.42	田辺	82	86	0	4	0	0	2	86.69	86.91
河内長野	21	21	0	2	0	0	4	80.70	81.00	田辺東	47	50	0	3	0	0	4	90.16	92.02
河内長野東	23	23	0	0	0	0	4	80.52	83.85	田辺はまゆう	42	42	0	2	0	2	4	76.25	78.52
河内長野高野街道	13	13	0	0	0	0	3	69.20	69.50	富田林	34	34	0	0	0	0	4	59.81	71.36
岸和田	30	30	0	0	0	0	4	77.53	81.44	富田林南	12	12	0	0	0	0	2	79.15	81.86
岸和田東	38	37	0	1	0	2	4	99.27	97.44	和歌山	64	67	0	3	0	0	4	79.81	80.42
岸和田南	11	10	0	0	1	1	3	96.97	89.55	和歌山アゼリア	32	33	1	1	0	0	4	76.67	84.46
粉河	18	18	0	0	0	0	5	100.00	98.13	和歌山東	42	43	0	2	1	1	3	78.00	86.12
高野山	17	17	0	0	0	0	4	76.75	83.89	和歌山城南	41	44	0	3	0	0	3	77.97	77.88
KUMATORI 向日葵	5	6	1	1	0	0	2	100.00	100.00	和歌山中	30	30	0	1	0	1	4	76.56	80.70
串本	11	11	0	0	0	0	5	72.73	76.82	和歌山北	36	37	0	3	0	0	4	67.41	58.01
松原	16	17	0	1	0	0	5	89.80	94.41	和歌山南	75	79	0	5	0	1	4	81.80	82.82
松原中	26	28	0	2	0	0	3	81.48	82.46	和歌山東南	44	44	0	0	0	0	4	83.20	86.71
美原	6	6	0	0	0	0	4	100.00	95.80	和歌山西	13	12	0	0	0	1	4	81.82	85.30

クラブ	7月1日 会員数				11月末 会員数				月平均 出席率	入会		退会	
	男性	1,689	女性	169	男性	1,759	女性	186		11月	累計	11月	累計
70	1,858				1,945				83.93	5	128	4	35

地区行事予定

2016年 1月 職業奉仕月間 (Vocational Service Month)

日	曜日	行 事 (時間)	会 場
9	月	岡本 浩 ガバナーエレクト国際協議会に向けての壮行会	ルミエール華月殿
15	日	R I 国際協議会 (~21日)	米国 カリフォルニア州 サンディエゴ
		米山記念奨学委員会 2017学年度奨学生選考会	ガバナー事務所・ホテルアゴラリージェンシー堺
		ローターアクト地区連絡協議会・懇親会	河内長野市民交流センター キックス3階 大会議室AB
19	木	ガバナー補佐・地区幹事合同会議	ガバナー事務所
23	月	「追悼記念週間(1月27日を含む1週間)」(Remembrance Week)	
27	金	ロータリーの創始者・ポール・ハリスの命日	



国際ロータリー第2640地区

ガバナー事務所のご案内

〒590-0985 堺市堺区戎島町 4-45-1

ポルタスセンタービル 1階 101号室

TEL (072) 223-1000

FAX (072) 223-1005

URL : <http://rid2640g.com/fukui/>

E-mail : fukui2016@wind.ocn.ne.jp



Rotary International Convention
HOST ORGANIZATION COMMITTEE

Rotary



米国・ジョージア州アトランタ

2017年6月10～14日

www.riconvention.org/ja



**世界から
ポリオをなくそう**

人類のために支援しています。

www.rotary.org

Rotary 国際ロータリー
第2640地区